



『チンポマン』

編集長 川俣のレビュー

面白さ	★★★★☆
エロさ	★★★★★
ストーリー性	★★★★★
何度も	★★★★★

■感想

ぶっちゃけシチュが天才すぎてやられたって感じ。いじめられっ子の主人公が、なんだかんだで女子たちとやれてるっていう「役得」スタートからしてもうエグい。

でもマジで刺さったのは、やっぱラストの木内さんとの絡み。主人公が本気で惚れてたはずなのに、チャンスが来た瞬間に性欲ダダ漏れで暴走するのがもう……最低なんだけど最高。しかも木内さん、最後まで一切報われないまま終わるの、後味悪いのにめちゃくちゃ良い。絶望の余韻がたまらん。

あとレビュー見るとみんな主人公のヤバさに惹かれてるのがわかる。偽善者っぽいところも含めて、リアルなクズって感じで、ただのエロにとどまってないのが魅力。女の子たちも可愛いし、ねっとりした空気感がクセになる。社会派って言いたくなるのもわかる、これ読んだら他の作品じゃ満足できなくなるわ。

『チンポマン』を今すぐ立ち読み